

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

目次

【1】事業の成果.....	3
【2】事業実施報告.....	4
ア. 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動.....	4
①キネマ館事業.....	4
②みやざきアートセンター事業.....	6
③みやざき国際ストリート音楽祭2018事業.....	8
④宮崎ストリートピアノプロジェクト事業.....	9
イ. 市民活動に関する連絡、助言、援助を行う活動.....	9
①宮崎県NPO活動支援センター事業.....	9
②みやざきNPOハウス運営事業.....	10
③みやざきNPO・協働支援センター事業.....	10
ウ. まちづくりの推進を図る活動.....	11
①宮崎市自然休養村センター運営事業.....	11
②宮崎みたま園管理運営事業.....	11
③宮崎市萩の台公園管理運営事業.....	12
④みやざきフラワーロード・ネットワーク事務局運営.....	12
⑤道守みやざき会議事務局運営.....	13
⑥花ボラネットみやざき事務局運営.....	13
⑦宮崎県地域づくりネットワーク協議会事務局運営.....	15
⑧その他.....	15
エ. 環境の保全・啓発に関する活動.....	16
①宮崎県地球温暖化防止活動推進センター事業.....	16
②九州地方環境パートナーシップオフィス運営業務（環境省事業）.....	18
③その他.....	18
オ. 国際協力の活動.....	19
①宮崎市バージニア・ビーチ市姉妹都市協会事務局運営.....	19
カ. 情報化社会の発展を図る活動.....	19
①市民活動支援のためのホームページおよびSNS等の企画提案、作成.....	19
キ. 経済活動の活性化を図る活動.....	19
①コイヤ協議会事務局.....	19
②木を見て森を見る！展.....	19
ク. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動.....	19
①インターンシップ受け入れ.....	19
ケ. 事務局コーディネート事業.....	20
①フィルム・コミッション機能強化事業.....	20
②宮崎映画祭運営業務.....	20
③みやざき国際ストリート音楽祭2019事務局運営事業.....	20
コ. 広報活動.....	20
①情報誌の発行による広報活動.....	20
②インターネットによる広報活動.....	20
サ. 災害救援活動.....	20
①復興支援活動.....	20
シ. その他.....	21
①宮崎県庁見学ツアー.....	21
②総合文化公園銅像活用業務.....	21
③外部人材活用による集落活動支援事業.....	21
④宮崎県指定居住支援法人に係る事業.....	21

【1】事業の成果

特定非営利活動法人宮崎文化本舗は平成 30 年度で 19 期を迎えた。

設立当初からの事業である宮崎キネマ館や、みやざきアートセンター事業などの文化振興事業をはじめとして、市民活動支援事業、まちづくり推進を図る事業、環境保全活動事業など、市民・県民の活動を豊かにすることを目的として様々な活動を行った。

宮崎キネマ館では社会現象にもなった『カメラを止めるな！』といった話題作をはじめとし、大都市部に引けを取らない質と量の作品(平成 30 年度は 260 本上映)を上映。他にも特集上映や上映作品の監督や役者などを招聘することで、市民に映像文化への興味を持っていただくきっかけを提供つづけている。

みやざきアートセンターは市民のサービスの拠点として、3 期目に入り、平成 30 年 10 月より 10 年目を迎えた。10 周年に向けた特別な事業をはじめ、自主事業の展覧会など、様々な企画を進めていくとともに、市民への会場の貸し出しをはじめとした表現の場の提供・市民の情報収集や憩いの場・子育て支援の施設として市民の文化活動の支援を行い、宮崎キネマ館とともに宮崎市の文化の醸成に努めた。

宮崎県 NPO 活動支援センター、みやざき NPO・協働支援センターは、様々な中間支援事業を行い行政と市民の協働は基より、民間と市民など様々なセクターを繋ぎ、市民活動の推進を行った。みやざき社中と共同運営する宮崎市自然休養村センターは、今年度で 13 年目を迎えた。地域との連携を図り、運営の改善に努め、地域に根付いた運営を行っている。

九州地方環境パートナーシップオフィス運営業務事業は、今年で 6 年目を迎え、宮崎文化本舗唯一の県外事業所として九州・沖縄地域の環境の保全に関する中間支援を行った。

他にもフィルムコミッション事業においては、連続ドラマ「忘却のサチコ」や、映画『キングダム』の宮崎ロケをサポートし、県と連携して宮崎の魅力の発信に寄与した。

また、15 年間当法人が運営してきた宮崎県地球温暖化防止活動推進センターの運営を平成 30 年度を最後として、新たに平成 31 年度より宮崎市民活動センターの運営を行うことになる、より幅広い層の市民・県民に対し、当法人としても今まで以上の活動の領域を広げていく準備に取り組んだ

【2】事業実施報告

ア. 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動

①宮崎キネマ館事業

事業名 宮崎キネマ館多目的ホール運営事業

実施時期 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

事業内容 映画館運営、多目的ホール運営、貸館業務、映像ソフト貸出業務、映像機器貸し出し業務

番号	事業名	実施時期	参加者数	内容
1	“新海誠の世界” 特集上映	H30 4/21、22、 28～5/4	450 名	みやざきアートセンター『新海誠展』の開催を記念して、新海作品を特集上映
2	「野球部員、演劇の舞台に立つ」 山田慎覇氏・ 鈴木一美プロデューサー 舞台挨拶	H30/4/21	20 名	公開を記念して出演俳優とプロデューサーをお招きしてトーク & サイン会実施
3	「猫は抱くもの」招待試写会 主催：鉦脈社	H30/5/10	40 名	じゅぴあ読者招待試写会。 貸館共催
4	「サイモン&タダタカシ」 舞台挨拶 小田学監督	H30/6/23	15 名	公開を記念して、監督舞台挨拶、サイン会を実施
5	「それいけ！アンパンマン かがやけ！クルンといのちの星」 はじめてのえいがかんデビュー♪	H30/6/30 ～8/31	800 名	ちいさなお子さんのために場内を明るめにして音量を下げて上映
6	「ロンドン、人生ははじめます」 招待試写会 主催：鉦脈社	H30/7/12	40 名	じゅぴあ読者招待試写会。 貸館共催
7	「ゴンドラ」 舞台挨拶 伊藤智生監督	H30/8/4	10 名	再上映を記念して監督をお招きしての舞台挨拶を実施
8	「ペンギン・ハイウェイ」 招待試写会 主催：テレビ宮崎	H30/8/6	60 名	テレビ宮崎視聴者招待試写会。 貸館共催
9	「カメラを止めるな！」 舞台挨拶・トークショー 上田慎一郎監督	H30/8/26	200 名	公開を記念して、監督舞台挨拶、サイン会を実施
10	「バケツと僕！」 石田和彦監督 舞台挨拶	H30/9/1	30 名	公開を記念して、監督舞台挨拶、サイン会を実施
11	集上映「SEVEN SENSES Ⅲ」	H30/9/15 ～9/21	200 名	世界各国の名匠の作品を特集上映

12	第24回宮崎映画祭 主催：宮崎映画祭実行委員会	H30/9/15 ～9/23	3000名	約20作品の映画上映および貸館を手配、映画監督の入江悠氏、白石和彌氏、脚本の港岳彦氏、俳優の門脇麦ら映画関係者を招いてのトークショー等を実施。付帯企画として、映像作家を応援する為のみやざき自主映画祭、PR企画として若草通りにて野外上映を実施。事務局委託も行う
13	「ガチ星」トークショー 江口カン監督 森川プロデューサー	H30/9/24	20名	公開を記念して、監督舞台挨拶、サイン会を実施
14	「泣き虫しょったんの奇跡」 関係者試写会	H30/ 10/15	30名	映画公開前に、宮崎の将棋関係者(指導者)、マスコミを招いて試写会実施
15	「泣き虫しょったんの奇跡」 公開記念 こども将棋大会 共催：宮崎こども将棋教室、 みやざきアートセンター	H30/ 10/21	60名	公開を記念してこども将棋大会を開催
16	「泣き虫しょったんの奇跡」 舞台挨拶、サイン会、指導対局 瀬川晶司氏 共催：宮崎こども将棋教室、 みやざきアートセンター	H30/ 11/11	70名	公開を記念して原作者、瀬川晶司棋士をお招きして舞台挨拶実施。終了後はみやざきアートセンター・創作アトリエにて指導対局実施
17	「鈴木家の嘘」招待試写会 主催：鉾脈社	H30/ 11/22	40名	じゅぴあ読者招待試写会。貸館共催
18	「神楽鈴の鳴るとき」舞台挨拶 濱田ここねさん、 増山修氏、竹原直子氏	H30/12/1	30名	公開を記念して、舞台挨拶、サイン会を実施。司会は濱田詩朗氏
19	「はたらく」上映、 監督舞台挨拶 主催：宮崎県自閉症協会	H30/12/8	100名	貸館共催
20	「バーフバリ」マサラ上映	H30/ 12/29	100名	完全版2部作の一挙公開を記念して、マサラ上映実施
21	特集上映「樹木希林」	H30/ 12/29 ～ H31/1/11	1000名	追悼特集上映として、過去作3作を日替わりで上映
22	「天才作家の妻」招待試写会 主催：鉾脈社	H31/1/24	40名	じゅぴあ読者招待試写会。貸館共催
23	「そして父になる」映画上映 主催：宮崎県里親連合会	H31/2/3	60名	貸館共催
24	「リヴァプール、最後の恋」 招待試写会 主催：鉾脈社	H31/3/24	40名	じゅぴあ読者招待試写会。貸館共催
25	「深堀隆介展」開催記念 深堀隆介氏 講演会 主催：みやざきアートセンター	H31/3/24	100名	貸館共催。劇場にて、スクリーンに映像を投影しながらトークショーを実施

②みやざきアートセンター事業

実施時期 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

来館者数 117,464 人

事業内容 中心市街地の活性化を目的として自主事業、宮崎市の委託事業、貸館事業をはじめ、多数の講座・講演会およびワークショップ等を開催し、多くの市民が様々な文化に触れる機会を創出した。また、子育て支援の施設としてキッズスペースの運営をはじめとした様々なイベント等の業務を行った。

1. 事業名 新海誠展「ほしのこえ」から「君の名は。」まで
主催 みやざき文化村、宮崎日日新聞社、UMKテレビ宮崎、教職員互助会
実施時期 2018 年 4 月 14 日（土）～5 月 27 日（日）[42 日間]
実施場所 みやざきアートセンター
参加者 15,894 名（有料 13,291 名、無料 2,603 名） 有料率 83.6%
事業内容 新海誠の作品は“美しく壮大な世界ですれちがう男女の物語”を描くことで人間の本質に迫っている。人と人が出会い、そしてすれちがい、揺れ動く心模様を、完成度の高い物語に結晶させ、登場人物やその世界を鮮やかに描き出す作品群は、世代や国境を超えて多くの人々を引きつけている。アニメーション監督・新海誠の15年の軌跡を振り返り、デビュー15周年を記念し、デビュー作「ほしのこえ」から、最新作「君の名は。」までを、代表的な6作品を年代順に、絵コンテ、作画、設定資料、解説模型、主題歌、映像に加え音声ガイドも導入し、十分に楽しめる展示となった。会場外でもラッピング紙配布、作品上映を含む各種イベントを実施し、アンケートからも9割近くの方が満足したことが分かった。客層として、やはり10～20代の学生が多かったが、40代にかけての会社員と思われる層も多く見受けられた。
2. 事業名 MOE 創刊 40 周年記念 島田ゆか・酒井駒子・ヒグチユウコ・ヨシタケシンスケ・なかやみわ5人展
主催 みやざき文化村、MRT 宮崎放送、
実施時期 2018 年 7 月 14 日（土）～9 月 2 日（日）[51 日間]
実施場所 みやざきアートセンター
参加者 9,994 人（有料 8,020 名、無料 1,974 名） 有料率 80.2%
事業内容 幅広い読者に師事され続ける雑誌『月間MOE』が、2018年に創刊40周年を迎えた。絵本には開いた瞬間に、私たちをその世界にいざなってくれ、心を穏やかに、そして豊かなものにしてくれる魅力がある。そのような魅力を持つ絵本を40年にわたり紹介し続けてきた月刊MOEが選ぶ、今もっとも注目されている作家絵本作家（酒井駒子、島田ゆか、なかやみわ、ヒグチユウコ、ヨシタケシンスケ）に焦点をあてた内容で構成。各作家の代表作である絵本を中心に、約200点（各作家約40点）の原画の展示や、作家が大切にしているゆかりのものを初公開した。展示作家5名それぞれにファンが多く、デビュー20年以上のベテランから今勢いのある作家までまさに現代の絵本作家の幅広さを感じられる展覧会となった。夏休みの親子連れの満足度を高めるため、当館オリジナル企画のぬりえや工作、衣装に着替えて写真が撮れるたいけんコーナーを設置し、小さな子どものいる家族連れにも充分楽しんでもらえた。
3. 事業名 日本・スウェーデン外交 150 周年記念長くつ下のピッピの世界展
～リンドグレーンが描く北欧の暮らしと子どもたち～
主催 みやざき文化村、宮崎日日新聞社、UMK テレビ宮崎

実施時期 2018年12月15日(土)～2019年1月27日(日) [41日間]
実施場所 みやざきアートセンター
参加者 9,593名(有料7,058名、無料2,535名) 有料率73.6%
事業内容 日本・スウェーデン外交関係樹立150周年を記念し企画された展覧会を、東京富士美術館に続き2カ所目、九州では初の開催となった。94年の生涯に多くの子ども向け作品を生み出し、“子どもの本の女王”と呼ばれ、その人生と作品において、子どもの人権を守り、権力に屈せず正しいと思うことをユーモアをもって貫き通し、子どもたちのためにいちばん大切なものを守る努力を続けたリンドグレーンの生涯と、彼女の代表作『長くつ下のピッピ』をはじめ、『やかまし村の子どもたち』『ロッタちゃん』などの貴重な日本初公開を含む展示数約200点の原画や映像、大型模型などを展示し、作品の世界を紹介。アンケートでも8割の方が満足しており、子ども連れの30～50代女性が多く見受けられた。

4. 事業名 Art Box -アートボックス#01-

主催 みやざき文化村

実施時期 2019年2月23日(土)～3月17日(日) [20日間]

実施場所 みやざきアートセンター5階

参加者 1,476人

事業内容 アートを通じた出会いと交流そして制作活動の支援を目的に、宮崎県在住・出身者を対象に、制作・発表を続けるアーティストや、アートを積極的に生活の中に取り入れて活動している人・団体に焦点をあて、個展形式で紹介する展覧会を開催。同時に、市民が気軽にアートに親しむことのできる場を設け、アーティスト同士や来場者など、人と人を繋ぐ機会を提供することを目的に、展示作家を講師としたワークショップやパフォーマンスイベント、そして私たちの生活の中にあるアートやそれに気軽に触れる機会として『マルシェ＊アートとライフ』を開催する。多種多様な方法や表現によって生み出されるアート作品に、ジャンルを問わず幅広く触れられる企画展を実施した。

5階展示室(常設展示室を除く)およびホワイエに作品を展示。今年は、①書の技術と絵画的な感性が融合した作品およびパフォーマンスで、主に国外で活躍している書家の美帆、②作家活動を始めて2年目でありながら精力的に個展を行い、ワイヤー・布・毛糸などを用いた立体作品に独自の世界観を込めるトンガリチーハ、③20代～70代の男女8名が知的・身体的など個々人の違いを背景に、道具、サポートの度合いを探りながら、それぞれの進み方で表現活動を行うあわいや、④イラストレーターとして“芸術＝エンターテインメント”を掲げて、観る人を楽しませる池田和宏の4人(または団体)が展示を行った。

5. 事業名 第23回「NHKハート展」

主催 NHK 宮崎放送局、みやざき文化村

実施時期 2019年2月23日(土)～3月17日(日) [20日間]

実施場所 みやざきアートセンター4階

参加者 1,318人

事業内容 NHKハートプロジェクトの一環として、平成6年度から実施している「NHKハート展」。障害のある人がつづった「詩」に込められた思いを、アーティストや著名人がハートをモチーフにした「アート作品」で表現し、その詩とアートを組み合わせた50組の作品を展示。

23回目の開催となる「NHKハート展」を宮崎で実施し、障害者福祉の理解促進を図る。

6. 事業名 第43回宮崎市美術展
 主催 宮崎市
 実施時期 2018年11月3日(土祝)～18日(日) [16日間]
 実施場所 みやざきアートセンター
 参加者 2,197人
 事業内容 宮崎市文化・市民活動課より委託を受け、実施主体として企画運営を行った。宮崎市内および国富・綾町の芸術を愛する在住者並びに宮崎市の在学・在勤者を対象に「宮崎市美術展」の企画・運営を通して、宮崎市民の文化・芸術に対する意識の醸成を目的として実施した。
- ・出品総数 265点(内入賞29点、入選225点、無鑑査11点)
 - ・入場者総数 2,197人
7. 事業名 子育て支援キッズスペース運営事業
 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
 利用者数 17,731人
 事業内容 中心市街地活性化に寄与することと子育て支援を目的としてキッズスペース運営を中心に様々なワークショップ・イベントを実施
8. 事業名 みやざきアートセンター太陽の広場貸館事業
 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
 対象者 制限なし。貸出件数：28件、利用者数：7,261人
 事業内容 「太陽の広場」を有料の貸出スペースとして活用することによって、利用者に対しては未知の来場者との出会いを、商店街を訪れた市民には触れる機会のなかった文化との出会いを提供し、中心市街地の賑わいの起点とする。
9. 事業名 おやこの森探検隊
 実施時期 平成30年11月23日
 実施場所 日向氏東郷町山陰、耳川広域森林組合事務所
 参加者 12名(大人5名、小人7名)
 事業内容 自然環境の大切さや林業の重要性を知る場の提供と、担い手育成の一環として環境教育を実施することを目的として、日本一の森林組合である耳川広域森林組合の活動内容の紹介や、林業機械の乗車体験、丸太切り体験、杉苗用のプランターの作成など行った。

③みやざき国際ストリート音楽祭2018事業

- 主催 みやざき国際ストリート音楽祭2018実行委員会
 実施時期 平成30年4月1日～平成30年6月8日
 開催期間 平成30年4月29日
 実施場所 橘通一丁目～三丁目、四季ふれあいモール、カリーノ前Tテラス、若草通りの8ステージにて実施
 事業内容 第13回開催。会場となる宮崎の中心市街地の道路を歩行者天国にしての演奏会。県立芸術劇場と連携して、国際音楽祭のストリート演奏会を実施。台湾より自強国民中学校・峨眉国民中学校の合同吹奏楽団や県内の学校の吹奏楽部、県内外のゲストによるコンサートやパレードを行った。クラシック、ジャズ、ロック、ブルース、合唱、吹奏楽など様々な

ジャンルの音楽が 42 プログラム・45 団体により演奏され、約 200 名のボランティアの協力を得て運営し、市民活動の場としても定着してきた。

集客数約39,000人

④宮崎ストリートピアノプロジェクト事業

主催 宮崎ストリートピアノプロジェクト実行委員会

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 アートセンター1階太陽の広場

事業内容 商店街活性化の一環として、自由に弾くことができる「ストリートピアノ」をアートセンター1階太陽の広場に設置し、イベント開催運営（「宮崎ジャズデイ 2017・ユネスコ 430 宮崎ストリートピアノ・プロジェクトライブ」(4/21)、「第8回ストリートピアノでつなが祈りのハーモニー」(3/11)）や保守管理等を行う。

イ. 市民活動に関する連絡、助言、援助を行う活動

①宮崎県NPO活動支援センター事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎県NPO活動支援センター、宮崎県内

事業内容 自主事業。NPOに関するガイダンス、コーディネートの実施、NPO活動支援センター研修事業、講座等の開催。

利用実績 193件

1. 事業名 平成30年度共助の基盤づくり事業

みやざきNPO・協働支援センター事業（NPO活動支援事業）

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター他

対象者 県内NPO法人等

事業内容 宮崎県の補助事業。NPOに関するガイダンス、コーディネートの実施、NPO活動支援センター研修事業、講座等の開催。また、県内のNPOネットワーク構築を目的とした意見交換会（事務長連絡会・政策連絡会）や中間支援組織のスキルアップ研修等も行った。併せて、宮崎県NPO企画力等向上研修も全4回実施した。

講座名	日時	講師	参加者数
第1回 「相手に伝わるプレゼンテーション」	H30/8/26(日) 13:30～16:00	平田 裕之氏 (一般社団法人コクリエーションデザイン代表理事)	30名
第2回 「企画を考える・事業を行うための ヒューマンファクター」	H30/11/8(金) 18:30～21:00	覺正 寛治氏 (人材育成コンサルタント)	23名
第3回 「ファンドレイジング講座講座 ～クラウドファンディングのメリット・デメリット～」	H30/12/13(木) 18:30～21:00	永田 賢介氏 (特例認定NPO法人 アカツキ 代表理事)	17名
第4回 「効果的でかっこいい！パワポ講座」	H31/1/26(土) 13:30～17:00	吉澤 隆氏 (㈱マーケティングジャンクション代表取締役社長)	21名

※会場はすべてみやざきNPO・協働支援センターにて開催

2. 事業名 非営利組織のための「第三者組織評価」業務

実施期間 平成30年8月21日～平成31年2月28日

実施内容 一般財団法人非営利組織評価センターより受託。NPO向けに「非営利組織第三者評価制度」説明会を開催し、評価制度を受ける団体に対してサポートを行う。

②みやざきNPOハウス運営事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 みやざきNPOハウス運営管理業務。日常的な管理業務の他、
入居希望者の対応、約14団体の入居団体と構成する管理委員会の事務局
などを行った。

③みやざきNPO・協働支援センター事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎県内

事業内容 NPO、協働、地域づくりに関する相談業務、コーディネートの実施、講座等の企画運営、
研修室の貸し出し等

1. 事業名 相談対応及びサポート業務

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、宮崎県内

事業内容 1年を通じてNPO・協働・地域づくり等に関して92件の相談を受けた。

2. 事業名 協働・地域づくり・NPO研修

ヒムカレッジ 5回 地域版ヒムカレッジ 1回

実施時期 平成30年7月2日～平成31年2月23日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、都城市立図書館

参加者 延べ253名が参加

事業内容

【ヒムカレッジ】

講演名	講師
「地球が壊れる前に」 上映会&西原智昭氏講演会	西原智昭 氏 (国際野生生物 NGO 自然環境保全マネージメント 技術顧問)
オリンピックメンタルコーチから学ぶ チームビルディングの秘訣	山家正尚 氏 (株式会社プロコーチジャパン 代表取締役社長)
さらば市民活動	石田達也 氏 (特定非営利活動法人宮崎文化本舗 理事長) 井上優 氏 (特定非営利活動法人宮崎文化本舗 副理事長)
元TVキャスターに学ぶ 「笑声(えごえ)®レッスン」 プレゼンスマネージメント	成田万寿美 氏 (On Air 代表)
世界的デザイナーが語る宮崎への想い	鳥丸軍雪 氏 【ファッションデザイナー】

【地域版ヒムカレッジ】

講演名	講師
地域版ヒムカレッジ×都城市立図書館	森田秀行氏 (図書館管理運営事業共同体 MAL1 コンサート代表) 井上康志氏 (都城市立図書館)

3. 事業名 県が行う施策への協力

実施時期 平成29年7月17日～8月28日

実施場所 西臼杵、東臼杵、北諸県、西諸県、児湯、南那珂の各振興局、本庁

参加者 145人

事業内容 NPO法人等民間の方と、県・市町村職員等公務員の方々を対象に、協働基礎研修を実施。
内容としては、ワールドカフェで協働の事例の共有を行い、ブレインストーミングで協働の推進についてのアイデア出しのワークショップを実施した。

4. 事業名 情報提供

実施時期 平成28年4月1日～平成29年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター

事業内容 情報提供

- ・ホームページ、ブログ、SNS等で様々な情報を提供

5. 事業名 ソーシャルビジネスの起業化／協働・地域づくり・NPOの拠点化／
協働の普及啓発

実施時期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

実施場所 みやざきNPO・協働支援センター、他

事業内容 ・地域おこし協力隊対象「コーチング研修」の実施
・協働・地域づくり・NPOの拠点化：パンフレットの配布
・協働の普及啓発：県が行う施策への協力において、協働基礎研修のやり方を変更し、今年度は新たに民間の方に参加して頂き、行政と民間のお互いの視点から様々な意見交換も行えた。

ウ. まちづくりの推進を図る活動

①宮崎市自然休養村センター運営事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎市加江田

対象者 94,187名が利用

事業内容 温泉施設 宮崎市自然休養村センター指定管理業務
地域やNPOと連携しての各種自主事業等

②宮崎みたま園管理運営事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎市より指定管理者の指定を受けた公園墓地施設の運営を、(株)文化コーポレーション・(一財)みやざき公園協会・(社)いつか会との共同体「ビー・アイ・ケーみたま」にて遂行。
広報および自主事業企画運営を担当。

1. 事業名 平成30年度宮崎みたま園広報事業「第4回宮崎みたま園川柳大会」
募集時期 平成30年8月20日～平成30年10月31日
応募方法 メール・FAX・ハガキ・Facebook
対象者 みたま園利用者及び周辺住民・小中高生を中心とした宮崎県民・県外の方
事業内容 「第4回宮崎みたま園川柳大会」の開催。募集テーマを、心に残る「あの人の思い出」とし、小学生以下・中高生・一般の3部門に分けて広く、川柳の募集を行った。687名1545句の応募があった。

③宮崎市萩の台公園管理運営事業

- 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
事業内容 宮崎市より指定管理者の指定を受けた公園施設の運営を、(一財)みやざき公園協会との共同体「萩の台公園運営プロジェクト」にて遂行。自主事業企画運営を担当。

1. 事業名 第11回萩の台公園小学生クロスカントリー駅伝大会
実施時期 平成30年10月20日(土)
実施場所 宮崎市萩の台公園
対象者 小学4～6年生。選手は延べ200名、関係者40名が参加。
事業内容 第11回開催。起伏のある地形を活かした駅伝およびロードレースを開催。
上位入賞チームにはシューズ等の賞品の進呈。また地元女性部によるぜんざいの振る舞いを実施。

④みやざきフラワーロード・ネットワーク事務局運営

- 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
事業内容 定例会議の招集・実施、会計、イベントおよび広告花壇の運営。

1. 事業名 まちななかフラワーパーク2018春の植栽
実施時期 平成30年4月21日(土) 9:00～11:00
実施場所 宮崎市中心市街地
対象者 中心市街地商店街関係者を中心に宮崎市民
事業内容 みやざき国際ストリート音楽祭2018を前に、橘通沿道花壇や各商店街花壇の植栽・清掃を行った。市民ボランティア約260人が参加。
2. 事業名 まちななかフラワーパーク2018秋の植栽
実施時期 平成30年10月20日(土) 9:00～11:00
実施場所 宮崎市中心市街地
対象者 中心市街地商店街関係者を中心に宮崎市民
事業内容 神武大祭を前に、橘通沿道花壇や各商店街花壇の植栽・清掃を行った。市民ボランティア約300人が参加。
3. 事業名 橘通フラワーサポートシステム
実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
実施場所 宮崎市橘通(国道220号線)3丁目東西沿道の広告花壇
対象者 制限なし ※審査あり
事業内容 橘通における植栽・美化活動の持続的な実施を図るため、橘通の花壇に広告プレートを設置、企業からの広告料により花壇の維持管理を行った。18の企業・団体が広告を掲出。前年比2増で56基のうち51基が稼働。

4. 事業名 みやざきアートセンター屋上庭園圃場整備事業
- 主催 宮崎文化本舗
- 実施時期 平成31年2月4日～平成31年2月28日
- 実施場所 宮崎市橘通西3丁目3-27 アートセンタービル6階
- 対象者 宮崎市民
- 事業内容 宮崎市景観形成活動支援補助金事業。みやざきアートセンター6Fの屋上庭園において、駐輪場と境界を接する西側のフェンス沿いに、花苗を育てる小規模のビニール温室7基を設置し、中心市街地の景観維持向上を目的に花苗の育成管理をスタートさせた。
- 成果としては、中心市街地活性化の中核施設であるみやざきアートセンターの屋上に花と緑の憩いの空間を創出できたこと、育成する品種や維持管理の方法について専門家からアドバイスを受け、事業の目的と環境条件に合う運営方針を学ぶことができたこと、今後、屋上圃場で育てた苗をワークショップ等のイベントの素材として用いたり、橘通3丁目近辺の花壇に補植したりできることがあげられる。

⑤道守みやざき会議事務局運営

- 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- 事業内容 道守みやざき会議総会の招集・実施、会計、道守九州大会「みちづくし」の開催、イベント企画運営。

1. 事業名 道守学習会（宮崎県地域づくりネットワーク協議会と同時開催）
- 主催 （道守みやざき会議、国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県、宮崎市）
- 実施時期 平成30年12月8日～9日
- 実施場所 日向市 細島
- 対象者 県内の道守さん、道路関係者、行政担当者等386人が参加。
- 事業内容 「道」に係る人材を育て、これからの「道守」について意見交換を行う交流会の開催。4つの分科会に分かれ議論を交わし、全体会で共有を行った。交流集会（懇親会）も実施し、約300名が参加。2日目は現地体験学習会を開催。3つのコースに分かれ、市内のオーブンガーデン見学や、植栽体験、道の駅巡りを行った。

⑥花ボラネットみやざき事務局運営

- 実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- 事業内容 情報の集約、および会員への連絡等の事務局業務

1. 事業名 みやざきフラワーマンス2018
- 主催 花ボラネットみやざき
- 実施時期 平成30年4月1日～平成30年6月10日
- 実施場所 宮崎市
- 対象者 宮崎市民。写真コンテストは制限なし。
- 事業内容 民間の企業・団体や個人自らが宮崎市の花の美しさを県内外にアピールすることを旨とし、既存の花のイベントを一元化する取り組み。ホームページ、Facebook等で各地の花のイベントや見どころの紹介、昨年度に引き続き写真コンテストを開催した。

フラワーマンス事業名	内容
「花のエントランス（草花装飾）」	空、陸、海の玄関である宮崎空港、宮崎港、宮崎駅および中心市街地（カリノー宮崎Ｔ－テラス）の４カ所に事業開始から１～２か月間（場所によって異なる）、プランター植栽等による草花装飾と事業告知看板を設置。市民ボランティアを募集して計３日間のべ約１７０人（前年１８０人）で作業にあたり、その様子をみやざきフラワーマンスFacebook（以下、FB）ページにて報告した。
「花いっぱいのみやざき写真コンテスト」２０１８	FB上にコンテストページ「花いっぱいのみやざき写真コンテスト２０１８」（以下、「写真コンテスト」）を開設し、告知と作品募集を行った。計１８３点（前年３０７点）の応募があった。 ※入賞作品の選定にあたっては一般のFBユーザーによる作品への「いいね！」数で上位５５件に絞り、６月２０日に審査会を開催して各賞を決定。７月１日にWEB上で入賞作品を発表した。
「花イベント情報の発信」	３月初頭にホームページを２０１８年版にリニューアル。２つのFBページ（みやざきフラワーマンス、花いっぱいのみやざき写真コンテスト）とリンクして、フラワーマンス期間中に開催される花のイベントや写真コンテストに関する情報を発信した。
「宮崎国フラワーパスポート」の配布	フラワーマンス期間中の、宮崎の花に関する情報を集約した「宮崎国フラワーパスポート」を配布した。

２．事業名 みやざきフラワーマンス２０１９

主催 花ボラネットみやざき

実施時期 平成３１年３月９日～平成３１年３月３１日

実施場所 宮崎市

対象者 宮崎市民。写真コンテストは制限なし。

事業内容 民間の企業・団体や個人自らが宮崎市の花の美しさを県内外にアピールすることを旨とし、既存の花のイベントを一元化する取り組み。ホームページ、Facebook 等で各地の花のイベントや見どころの紹介、昨年度に引き続き写真コンテストを開催した。

みやざきフラワーマンス 2019 事業名	内容
「花のエントランス（草花装飾）」	空、陸、海の玄関である宮崎空港、宮崎港、宮崎駅および中心市街地（カリノー宮崎Ｔ－テラス）の４カ所に事業開始から１～２か月間（場所によって異なる）、プランター植栽等による草花装飾と事業告知看板を設置。
「花いっぱいのみやざき写真コンテスト」２０１９	３月９日よりFB上にコンテストページ「花いっぱいのみやざき写真コンテスト２０１９」（以下、「写真コンテスト」）を開設し、告知と作品募集を開始した。
「花イベント情報の発信」	２つのFBページ（みやざきフラワーマンス、花いっぱいのみやざき写真コンテスト）とリンクして、フラワーマンス期間中に開催される花のイベントや写真コンテストに関する情報を発信した。
「みやざき花のパスポート２０１９」の発行	フラワーマンス期間中の、宮崎の花に関する情報を集約した「みやざき花のパスポート２０１９」を発行、配布した。

⑦宮崎県地域づくりネットワーク協議会事務局運営

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎県内の地域づくり団体の活性化に資する事業の運営やサポート

1. 人材育成事業

事業名	内容
日本のひなた地域づくり実践塾	県内8つのブロックが独自に行う、実践塾についてサポートを行った。
地域づくりリーダー養成事業 (日本のひなた地域づくり実践塾 報告会・審査会)	県内8つのブロックが行った実践塾の報会・審査会の運営を行った。 1位児湯ブロック、2位北諸県ブロック、3位フォレストピアブロック
地域間・異分野連携推進モデル事業 (日本のひなた つながる ひろがるプロジェクト)	地域や分野の枠を超えて地域を支える持続可能な仕組みづくりを行っている団体に助成金を出す事業の運営を行った。もえる商忘団と有限会社サングロウがの2団体が採択

2. ブロック連携強化事業

事業名	内容
ブロック運営会議	ブロック毎のネットワークを強化するために、意見交換会などを行う事等の運営支援を行った。

3. 地域づくり交流事業

事業名	内容
宮崎県地域づくり団体研修交流会道 守みやざき交流会 2018& 中山間セミナーin 日向市	宮崎県内の地域づくりの団体等が地域の活性化に資する研修と、交流を深める場を提供し運営した。

4. 情報発信・連携事業

事業名	内容
情報発信	地域づくり団体等が企画している研修や、その報告等をSNS等で情報発信を行った。
広域・市町村連携強化	九州・山口地域づくり人材ネット研修会、第36回地域づくり団体全国研修交流会福島大会に参加し、地域づくり団体全国協議会九州ブロック会議in日向を主管

5. 県からの受託事業

事業名	内容
地域づくり顕彰情報発信	宮崎県の地域づくり見城受賞者の活動状況を取材編集し、ホームページで情報発信を行った。
地域おこし協力隊定着促進 ・ネットワーク化事業	地域おこし協力隊の定着促進等を図るために、地域おこし協力隊みやざきサミットの企画運営、川南町軽トラ市の参加、協力隊のためのコーチング研修の企画運営を行った。

⑧その他

1. 事業名 サードプレイスの開拓・運営事業とT-テラスプロジェクト

主 催 高千穂通りを愉しくする会

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎市高千穂通

事業内容 宮崎の中心市街地の活性化を目的とする会の事務局。その中で取り組んだ「T-テラスプロジェクト」とは、住民・事業者・行政が一体となりまちづくりのモデル事業として実施。宮崎市のメイン道路である高千穂通線の歩道に、宮崎県産の杉でステージを設置・活用し、中心市街地の賑わいを創出する社会実験。

利用実績 18件

工. 環境の保全・啓発に関する活動

①宮崎県地球温暖化防止活動推進センター事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎県内

事業内容 宮崎県地球温暖化防止活動推進員、地方自治体、地域協議会等と連携した、地球温暖化防止のための普及啓発の実施。

1. 事業名 宮崎県地球温暖化防止活動推進センターによる 地球温暖化防止活動推進事業

実施時期 平成30年4月17日～平成31年3月29日

実施場所 宮崎県内各地

参加者 宮崎県地球温暖化防止活動推進員、各市町村担当者、宮崎県民ほか

事業内容 宮崎県からの委託。

1) 宮崎県地球温暖化防止活動推進員を対象に実践的な取り組みの普及を図るため研修会を実施した。(年6回)

◆株式会社九南 黒木忠良氏のご講演を各会場(県央・県南・県北)で開催した。

◆一般社団法人日本キリバス協会 代表理事 ケンタロ・オノ氏によるご講演を宮崎県立図書館で開催した。

◆宮崎環境サポーター倶楽部「ムスの会」 山口 和浩氏によるリサイクルカーテンを利用した風呂敷活用術講座を各会場(県央・県北)で開催した。

2) 12月(地球温暖化防止月間)に広く宮崎県民を対象としたイベントを、イオンモール宮崎において実施した。

◆宮崎県衛生環境研究所による“「みやざきの空」を知ろう!” NPO法人みやざきエコの会による“木のバッチ作り” 小林地球温暖化防止活動会による“マイ箸入れ作り” 一般財団法人みやざき公園協会による“寄せ植え体験” センターによる“環境クイズラリー”等を通して地球温暖化防止の普及啓発を実施した。

2. 事業名 平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金 (地域における地球温暖化防止活動促進事業)

実施時期 平成30年6月4日～平成31年2月28日

実施場所 宮崎県全域

参加者 宮崎県民

事業内容 全国地球温暖化防止活動推進センターの補助事業。

1) 【地球温暖化対策等(COOL CHOICE 含む)についての広報・啓発活動】

◆イベント来場者数 計 421 名参加

◆「COOL CHOICE」個人賛同数: 196 名

◆9回のイベント実施によりCO₂排出削減量合計は、約 5.47 (t-CO₂)

1-1 [VRの体感]

VRを活用して地球温暖化対策等(COOL CHOICE 含む)の啓発を実施。イベント等にてブース出展を9回実施し、VR体感と一緒に、リサイクルカーテンを使用したマイ風呂敷作りやマイバッグの作製体験、「COOL CHOICE」賛同募集、「COOL CHOICE子どもエコチャレンジ!!」を実施。

1-2 [防災ずきん]

リサイクルカーテンを利用した防災頭巾の作製ワークショップを開催した。

2)【地域地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援】

- ◆6ヶ所 10回開催、ブース来場者数 計約 535 名
- ◆11/11 推進員が主体となり実施したイベントにより、CO₂排出削減量合計は、約 1.53 (t-CO₂) (行動変容を数値化して削減量を算出)
宮崎県地球温暖化防止活動推進員と協働で「COOL CHOICE」
及び「九州エコライフポイント」参加者募集をイオンモール宮崎等において開催。

3)【日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言】

- ◆アンケート 432 通発送 うちアンケート回答数 56 団体
- ◆COOL CHOICE 個人賛同数 59 名
太陽光発電設置パネル「屋根借り」モデル事業の推進。植松商事株式
会社と連携し、自治公民館の屋根を活用して太陽光発電機のパネルの設置の推進と
同時にアンケート調査および「COOL CHOICE」賛同募集を行った。

4)【地域の温室効果ガス排出に関する実態調査(調査協力含む)、情報
収集・分析、成果の発信】

- ◆イベント開催時人数 計約 250 名 調査票の回答数 計 48 名
- ◆「COOL CHOICE 子どもエコチャレンジ!!」の実施により
CO₂排出削減量合計は、約 23.07 (t-CO₂)
- ◆COOL CHOICE 個人賛同数 77 名
宮崎県内小学生を対象とした「COOL CHOICE 子どもエコチャレンジ!!」を
実施。児童クラブ 2 ヶ所のご協力により、温暖化についての環境省作成アニメDVDの
上映と、各家庭でのエコチャレンジ項目の実践調査を実施した。また、他団体主催の環
境イベントにて「COOL CHOICE 子どもエコチャレンジ!!」を実施した。

5)【指定団体等への施策の協力】

- ◎3ヶ所 計 670 名参加
- ◆COOL CHOICE 個人賛同数 72 名
自治体等とイベントの共催を実施。宮崎气象台主催イベントや推進員
所属の事務所において、地球温暖化防止についての講演を実施した。

3. 事業名 九州エコライフポイント支援業務

主催 九州版炭素マイレージ制度推進協議会

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 九州全域

参加者 九州に居住して1年以上経過した世帯

事業内容 ①平成30年7月～9月、12月～平成31年2月の電力検針票の提出

②対象省エネ製品の購入

③対象環境保全活動イベントへの参加

上記、各3事業に参加することにより、九州でのCO₂排出量の削減を目指した活動。

特典として対象店舗で使用できるエコライフポイント券(商品券)を交付。宮崎県内
から夏期503世帯、冬期832世帯のお申込みをいただいた。

②平成30年度九州地方環境パートナーシップオフィス（含む、九州地方ESD活動支援センター）運営業務（環境省事業）

実施期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 九州・沖縄地域（事務所所在地：熊本市中央区）

対象者 NPO団体、市民、行政、企業など

共同団体 （社）九州環境地域づくり（協定に基づく共同運営）

事業内容 九州・沖縄地域における環境パートナーシップの推進、SDGsの普及啓発を目的に、相談対応や情報提供・情報発信等の窓口業務を行うとともに、セミナーやフォーラムなど交流機会の提供や環境イベントでのパネル展示、環境省事業の中間支援などを行った。

事業実績 1) SDGsを活用した環境・社会課題同時解決事業：生ゴミ資源化（循環生活形成）に取り組む専門団体の取組を伴走支援し、地域団体・社会福祉協議会との連携による複合課題解決に向けた関係構築を支援した。

2) ESD推進拠点支援事業：北九州まなびとESDステーション、鹿島市ラムサール推進協議会と連携し、ESDの考え方の普及やプログラムづくり、ネットワーク形成の視点から拠点形成に取り組んだ。

3) 九州地方ESD活動支援センター運営事業：運営2年目となるESD活動支援センターでは、文科省・環境省が進める「ESD推進ネットワーク」を担い、地域におけるESDの普及を図る役割を担った。

あわせて地域ESD推進拠点の登録を進め、様々な地域、分野でESD活動を支援する団体・施設・拠点等のネットワークづくりを進めている。

（九州・沖縄地方 12拠点）

4) ウェブやメールマガジンによる情報発信に取り組むとともに、年間の活動をまとめたニュースレターを発行した。

1. 事業名 グリーングフト地球元気プログラム

実施期間 平成29年10月1日～平成30年9月30日

（プロジェクト期間 平成28年10月1日～令和元年9月30日）

実施場所 熊本県・大分県・宮崎県

実施団体 大分県 NPO法人ABC野外教育センター

熊本県 NPO法人水のとらベル隊

宮崎県 NPO法人大淀川流域ネットワーク

対象者 NPO団体、市民、行政、企業など

事業内容 東京海上日動が協賛するグリーングフトプロジェクトを地域展開するにあたり、各地のNPO団体と東京海上の各支店の橋渡しを行い、連絡調整を行うとともに、コーディネーターとして事業推進のための側面支援を行った。

③その他

1. 事業名 宮崎市地球温暖化対策地域協議会事務局運営業務

実施期間 平成30年5月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎市内

対象者 協議会会員・みやざきエコアクション認証事業者など

事業内容 市民・地域団体・事業者・行政機関等からなる、協議会の円滑な運営と地球温暖化防止活動の推進を目的に、協議会だよりの作成及び発行（年4回）・協議会の開催（年1回）・市民を対象としたイベントの実施（年3回）・ノーマイカーデー及びエコドライブの推進（年4回の調査）・セミナーの開催（年1回）を実施した。

◆「地球が壊れる前に」上映会 及び 西原智昭氏 講演会

セミナー参加人数 88名

2. 事業名 公民館等太陽光発電設置事業

実施期間 平成30年7月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎県内

対象者 県内各地の自治公民館長及び自治公民館を利用する住民

共催 植松商事株式会社

事業内容 宮崎市内及び国富町にある自治公民館に太陽光発電システムを無償で設置し、公民館に屋根貸し料金として売電事業者が支払う事業。CO2の削減及び、災害時の地域の防災拠点となる。

事業実績 約20

オ. 国際協力の活動

①宮崎市バージニア・ビーチ市姉妹都市協会事務局運営

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎市担当課との協議・連絡調整、会計、交流事業の企画運営

カ. 情報化社会の発展を図る活動

①市民活動支援のためのホームページおよびSNS等の企画提案、作成

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎文化本舗のホームページや各事業のフェイスブックページなどのコンテンツ拡充を図ることで、当法人だけでなく県内外の団体が行う活動を広報しネットワーク構築や市民活動支援につなげた。

キ. 経済活動の活性化を図る活動

①コイヤ協議会事務局

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎市・東京都

事業内容 宮崎市、函館市、鹿沼市の事業者のネットワークと都内のデザイナーを繋ぎ国内産木材の統一ブランド「コイヤ」の展示会参加、イベントの企画運営の事務局を担当。

1. 事業名 木を見て森を見る！展

実施時期 平成30年10月12日～平成30年12月2日

実施場所 東京都 無印良品 有楽町店

来場者 35,344人

事業内容 無印良品が主催するコイヤ協議会の取り組みを紹介する展示会。期間中は様々なワークショップを実施。

ク. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

①インターンシップ受け入れ

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 各事業所

事業内容 各事業所において、市や県および中高生をインターンシップとして受け入れ

ケ. 事務局コーディネート事業

①フィルム・コミッション機能強化事業

主催 宮崎県観光推進課

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎県

事業内容 市町村、観光協会、業界団体並びに住民団体等とのネットワーク化を図りながら、日頃から様々なロケーション収集と施設管理者等へ撮影のための協力依頼を県内全域で実施する。また制作サイドからの具体的な照会があった際に、宮崎フィルム・コミッション並びに市町村等と協力して情報収集を行う。撮影前のシナリオハンティング、ロケーションハンティング及びロケ時の立会い等を宮崎フィルム・コミッションと協力して対応する。

②宮崎映画祭運営業務

主催 宮崎映画祭実行委員会

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎市内

事業内容 映画上映や映画関係者トークショーの実施企画・運営

③みやざき国際ストリート音楽祭2019事務局運営事業

主催 みやざき国際ストリート音楽祭実行委員会

実施時期 平成30年8月30日～平成31年3月31日

事業内容 みやざき国際ストリート音楽祭の開催準備・運営

コ. 広報活動

①情報誌の発行による広報活動

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎キネマ館情報を主体とする広報紙(キネマニア：年6回発行)やみやざきアートセンター発行の広報紙(アートセンターだより：年4回発行)などによる定期的な広報活動。

②インターネットによる広報活動

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所 宮崎文化本舗

ウェブサイト：<http://www.bunkahonpo.or.jp>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/bunkahonpo/>

事業内容 当団体ウェブサイト、フェイスブックおよびメールによる広報活動。

および各事業ごとのウェブサイト・フェイスブック・Instagram・Twitter も開設・稼働中

サ. 災害救援活動

①復興支援活動

1. 事業名 平成30年度東日本大震災復興活動支援事業

「県産材の木育施設を被災地に届ける協働事業」

実施場所 気仙沼児童センター、鹿折児童館

実施時期 平成30年6月1日～平成31年3月31日

実施内容 宮崎県産杉材を用いた木製遊具を地元の人たちと協議し、協働で設置することで、被災

した地域における子育て中の親子を中心とした多世代のコミュニケーションを図れる場を創出し、被災地でのコミュニティづくりの一助となることを目的として実施した。また宮崎県産杉材のPRの一環として実施した。平成31年2月9日に、気仙沼市2箇所の児童館に設置作業を行い、気仙沼児童センターにて贈呈式を開催して頂いた。

シ. その他

①宮崎県庁見学ツアー

事業名 宮崎県庁見学ツアー

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 「宮崎県庁見学ツアー」のボランティアガイドのシフト管理等を行った。ボランティアガイド12名で、全109回・延べ1151名(10月～3月に実施したJR九州「ななつ星 in 九州」ツアー見学者223名含む)の見学者に対して、ガイドを実施した。

②総合文化公園銅像活用業務

事業名 総合文化公園銅像活用業務

実施時期 平成30年5月11日～平成31年3月31日

事業内容 ガイドボランティア養成講座を3回実施し、ガイドボランティアマニュアルのブラッシュアップを行った。宮崎県郷土先覚者ゆかりの地を回るバスツアーも実施した。10月～11月にかけて、公園に遠足で訪れる小学校とガイドボランティアさんのコーディネートを行った。

③外部人材活用による集落活動支援事業

事業名 外部人材活用による集落活動支援事業

実施時期 平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業内容 中山間盛り上げ隊の北部地区の事務局を行い、派遣回数19回、延べ101名の参加者があった。

④宮崎県指定居住支援法人に係る事業

実施時期 平成30年6月18日～平成31年3月31日

事業内容 宮崎県より指定を受け、居住支援法人として事業を行った。

空き家情報の収集および自治体の担当課との連携・情報共有、生活困窮者からの相談対応等を行った。

1. 事業名 居住支援法人活動支援事業

実施時期 平成30年9月7日～平成31年3月1日

事業内容 国交省より補助。

居住支援法人の県域での周知に重点を置き事業を行った。居住支援協議会にはオブザーバーとして参加(次年度より正式加入が採択された)し、宮崎県の不動産業者や不動産オーナーとの情報を共有することで具体的な実態調査や支援活動の方向性などを検討した。また、居住支援法人の周知活動の中で、宮崎県内の自治体を回り、各地域の実情を伺い情報共有を行った。

生活困窮者からの居住に関する相談については、連携先の団体等と協議しながら対応した。また、社会福祉協議会と自治体担当者向けに居住支援に関する説明会を開催した。説明会には55名参加。